

福岡市総合図書館

映像ホール

FUKUOKA CITY
PUBLIC LIBRARY
MOVIE HALL

シネラ NEWS

11

NOVEMBER

1997 No.16



シャンカラーバラナム

■特集■

世界最大の映画大国
映画大陸・インド
(インドシネマウィーク)

アジア映画の注目国
イラン映画特集

■特別講演■

多様なインド・多様なインド映画
[松岡 環 (アジア映画研究者)]



チック・タック

特集 | 世界最大の映画大国

インドシネマウィーク 映画大陸・インド

世界最大の映画製作本数を誇るインド。歌と踊りに溢れるインド映画の傑作、歴史的名作を大特集。

会 期：11月2日(日)～11月16日(日)

但し11月4日(火)、10日(月)は休館日、11月11日(火)は映画上映なし。

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



ボンベイ

ボンベイ

11月2日(日) 11:00 / 11月6日(木) 19:00
/ 11月14日(金) 14:00

1995年/35ミリ/カラー(140分) [インド(タミル語)] 監督：マニラトナム 出演：アラヴィンドスワミ、マニーシャ・コイララ

ヒンドゥー教の親を持つ主人公シェーカルとイスラム教の親を持つ女性パースが、宗教を乗り越えて愛し合う物語。ボンベイで実際に起こったヒンドゥー教徒とイスラム教徒の宗教対立という難しい問題を扱いながら、全編をロックのリズムと斬新なダンスにより構成されており娯楽性豊かな作品となっている。



ロージャー

11月2日(日) 15:00 / 11月7日(金) 14:00
/ 11月13日(木) 14:00

1992年/35ミリ/カラー(137分) [インド(タミル語)] 監督：マニラトナム 出演：マドウパラー、アラヴィンドスワミ

北インドのカシール地方を舞台にゲリラに誘拐された夫リシと、夫の解放を訴える妻ロージャーの愛の物語。ダイナミックな歌とダンスが評判となり、インド全土で上映され、マニラトナム監督の名前を一躍有名にした作品である。そしてマニラトナム監督は現在、インドで最も人気と実力のある監督として注目を浴びている。



大地のうた

11月3日(月・祝) 11:00 / 11月7日(金) 19:00 / 11月16日(日) 11:00

1956年/35ミリ/モノクロ(125分) [インド(ベンガル語)] 監督：サタジット・レイ 出演：シュビル・パナルジー、ウマ・ダーシュグプト

インド映画を世界に知らしめた巨匠、サタジット・レイ監督のデビュー作。ベンガル地方の小さな村に住む家族の物語が、オポーという少年の目を通してみずみずしく叙情的に表現される。インドでも大評判となった本作は、56年カンヌ映画祭においてベスト・ヒューマン・ドキュメント賞を受賞している。



バンディット・クイーン

11月3日(月・祝) 15:10 / 11月13日(木) 19:00 / 11月16日(日) 15:00

1994年/35ミリ/カラー(119分) [インド(ヒンディー語)] 監督：シェーカル・カプール 出演：シマー・ビシュワース、ニルマル・バーンデー

「女盗賊プーラン」は日本でもベストセラーとなったが、この映画は本が書かれる以前に、プーランが獄中で口述した日記をもとに脚本が作られた。インド中北部のチャンバル渓谷に住む盗賊達の実体が描かれており、カースト差別と女性差別という、二重の差別を打ち破ったプーランの存在は、インドの貧しい人々にとっては正に英雄として称えられている。



おとぎ話

11月5日(水) 14:00
11月8日(土) 11:00

1980年/35ミリ/カラー(135分) [インド(グジャラーティー語)] 監督：ケータン・メーヘター 出演：ナースィルッディーン・シャー、スミター・バーティル

昔々、二人の妃を持つチャクラセーンという王と王子の物語。王は子供に恵まれず、やっと生まれた王子はもう一人の妃の陰謀により不可触民の村で育てられる。この作品はインドの伝統的な民衆劇の形式を借りて、カースト制を告発した作品である。ナント映画祭においてユネスコ・クラブ人権賞を受賞。



アマル・アクバル・アントニー

11月5日(水) 18:30
11月9日(日) 15:00

1977年/35ミリ/カラー(168分) [インド(ヒンディー語)] 監督：マヌハーマン・デサイ 出演：アミターブ・バッチャン、ヴィノード・カンナー

別れ別れに育てられたアマルとアクバルとアントニーという三人兄弟が、ギャングを相手に大活躍する娯楽映画であり、70年代から80年代始めにかけて流行したマルチスター・システム映画の代表作。主演の三人はいずれも当時の大スターであり、共演する女優陣もシャバーナ・アーズミーを始め豪華な顔ぶれを揃えている。



紙の花

11月6日(木) 14:00
11月15日(土) 15:00

1959年/35ミリ/モノクロ(149分) [インド(ヒンディー語)] 監督：グル・ダット 出演：グル・ダット、ワヒーダー・ラフマーン

死後急速に評価を高めているグル・ダット監督の代表作。この作品は監督の自伝的要素が強く技術的完成度も高い。

1930年代のボンベイを舞台に、新しく作る映画のヒロインを探す映画監督の話であり、グル・ダット本人が監督役を演じている。インド映画初のシネマスコープ作品。



シャンカラーバラナム

11月8日(土) 15:00
11月12日(水) 14:00

1979年/35ミリ/カラー(143分) [インド(テルグ語)] 監督：K.ヴィシュワナート 出演：J.V.ソーマヤー、マングー・パールガヴィ

娯婦の娘トゥルシと高名な声楽家シャンカラ・シャーストリの愛の物語。シャンカラの歌うインド古典音楽とそれに併せてトゥルシが踊る様は、観客をヒンドゥー教の神話の世界に誘い、古典舞踊の真髄を見せてくれる作品である。シャンカラの声を吹き替えているS. P. バラスブラマニアムは南インド映画音楽の歌手の第一人者であり、素晴らしい声を聞かせてくれる。



対面

11月9日(日) 11:00
11月14日(金) 19:00

1984年/35ミリ/カラー(107分) [インド(マラーヤラム語)] 監督：アドゥール・ゴパールクリシュナン 出演：P.ガング、B.K.ナーヤル

1950年代初めから60年代にかけて、インド南部のケララ州における共産主義活動を背景にした社会派映画。当時の社会情勢の中で、運動のリーダーが「墮ちた偶像」となっていく様が描かれている。アドゥール・ゴパールクリシュナンはアラヴィンダンと並ぶマラーヤラム語映画の巨匠であり、インド芸術映画の中心的存在である。



私自身のもの

11月12日(水) 19:00
11月15日(土) 11:00

1994年/35ミリ/カラー(141分) [インド(マラーヤラム語)] 監督：シャーージ・N・カルン 出演：ヴェンマニ・ヴィシュヌ、アスワニー

幸せな家庭が夫の突然の死により厳しい現実へ晒され、家族離散の破局に向かって転落して行く様が、容赦ないリアリズムで表現された作品。幸せな過去をカラーで、現在がモノクロで描かれており、過去と現在の違いを一層際立たせている。シャーージ・N・カルン監督はアラヴィンダン監督のカメラマンとして有名で本作は監督第2作となる。



講演

11月3日(月)
14:00～15:00
(入場無料)

「多様なインド・多様なインド映画」 松岡 環(アジア映画研究者)

大阪外国語大学インド・パキスタン語科卒業。大学在学中よりインド映画の虜(とりこ)となっており、20年以上インド映画祭や上映会の開催を行う。近年はアジア映画全般に研究対象を広げるほか、自宅に設けたホール「スペース・アジア」でアジア映画のビデオ上映等を行っている。著書には、「アジア・映画の都」や共著として「インドがやがや通信」「映画で知るアジアの心」などがある。



▲松岡 環

イラン映画特集

現在アジアで最も注目される、イラン映画の注目作を上映する特集第1弾。今回は児童映画の傑作「ザ・ブーツ」「チック・タック」や、革命前のイラン映画を世界に知らしめた傑作「牛」等多彩なイラン映画の魅力に迫ります。

会期：11月19日(水)～11月24日(月)／11月26日(水)～11月28日(金)
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



選択

サラ

11月19日(水) 14:00
11月24日(月・祝) 15:00

1993年／35ミリ／カラー (100分)
監督：ダリウシュ・メヘルジュイ
出演：ニキ・キャリミ

イブセンの「人形の家」を監督自身が脚色した心理劇。癌に冒された夫の治療費を返済するために苦勞する主人公サラを演じるニキ・キャリミは、数多くのイラン映画に出演する美人女優。93年ナント三大陸映画祭準グランプリ、最優秀女優賞受賞。



戦火の中へ

11月19日(水) 19:00
11月21日(金) 19:00

1992年／35ミリ／カラー (100分)
監督：アズイゾラ・ハミド＝ネジャド
出演：メヘディ・ファギー

イラン映画にはイラン・イラク戦争をテーマにした作品が数多くあり、本作もその一本である。戦争へ行った息子を心配するあまり、最前線まで息子を訪ねて行く父親の心情が描かれている。派手な戦争映画ではないが、イラン南部の湿地帯を舞台に繰り広げられる戦闘シーンは非常にサスペンスに富んだものとなっている。



パンと詩

11月20日(木) 14:00
11月26日(水) 19:00

1994年／35ミリ／カラー (90分)
監督：キュマルス・ブルアマド
出演：メヘディ・バゲルベギ

マジッド少年は詩や小説が大好きで、自分で詩を作って投稿もしていた。ある日どうしても図書館の「レ・ミゼラブル」を読みたいマジッドは、義兄の本を使って図書館の本と入れ替える。ところが義兄の本には小切手が挟まれており、家では大騒ぎになる。マジッドとその家族がユーモアを込めた温かい視点で描かれた作品。



青いベール

11月20日(木) 19:00
11月23日(日) 15:00

1995年／35ミリ／カラー (85分)
監督：ラクシャン・パニエマッド
出演：ファテメ・モタメダリア

トマト農場等を経営する初老のラスールは、妻を亡くし寂しい一人暮らしをしていた。ラスールは農場で新しく雇った青いベールのノバルという女性に惹かれ、ノバルを別宅に招く。ところがラスールの娘達は遺産相続の不安からノバルを家から追い出そうとする。イランにおける貧富の差等がリアルに描かれたメロドラマ。



これを最後に

11月21日(金) 14:00
11月27日(木) 19:00

1992年／35ミリ／カラー (98分)
監督：シルス・アルバンド
出演：ホロス・シャキバイ

イランから日本に出稼ぎに行こうと計画する夫と妻の物語。イランの都市生活の本当の姿や、彼らの抱える問題が一組の夫婦を通して浮かび上がる。またこの作品を見るとイランから日本へ来るのがいかに大変であるかがよく分かる。主演のホロス・シャキバイとファテメ・モタメダリアは共にイランの大スターである。

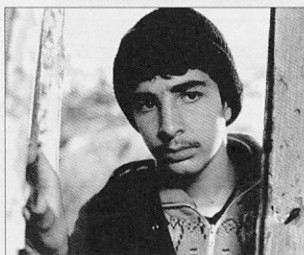


選択

11月22日(土) 11:00
11月28日(金) 19:00

1991年／35ミリ／カラー (81分)
監督：アリレザ・ダウドネジャド
出演：アリ・スリ

少年アリは父親の死後、家族を養うために夜間学校に通いながら印刷所で働くことにする。ところがそこにはレザという少年がおり、主人は働きぶりを見てどちらかを雇うという。二人は喧嘩をしながらも次第にお互いを認めあうようになる。二人の少年が人間の成長して行く過程がテンポ良く描かれた作品。



牛

11月22日(土) 15:00
11月26日(水) 14:00

1969年／35ミリ／モノクロ (100分)
監督：ダリウシュ・メヘルジュイ
出演：エザトラ・エンテザミ

ハサンは村に一頭しかない牛を、自分の子供のように愛していた。ところがある日ハサンが留守の時、牛は謎の死を遂げる。村人達は会議の結果、ハサンには本当のことを言わず、牛が逃げたことにしようということになる。71年ヴェネチア映画祭で国際批評家賞を受賞したイラン映画の傑作。



ザ・ブーツ

11月23日(日) 11:00
11月27日(木) 14:00

1993年／35ミリ／カラー (60分)
監督：アリ・タレビ
出演：サマネー・ジャファール＝ジャラリ

小さな女の子サマネーは、お母さんから買ってもらった赤いブーツの片方を亡くしてしまう。サマネーが大切なブーツを片方亡くしたことを知った近所に住む男の子アリは、一生懸命ブーツ探しに協力する。シンプルなストーリーながら卓越した演出力で子供たちの自然な表情を引き出し、アリ・タレビ監督の出世作となった作品。



チック・タック

11月24日(月・祝) 11:00
11月28日(金) 14:00

1994年／35ミリ／カラー (65分)
監督：アリ・タレビ
出演：サイード・ガラィ

サイードと同級生のハッサンは大の仲良し。ある日成績優秀なハッサンは先生から褒美として腕時計をプレゼントされる。ところが昼休みが終わると腕時計がなくなっており、持ち物検査の結果、サイードの鞆から時計が出てくる。子供達の友情が素晴らしい、アリ・タレビ監督らしい作品。



《イラン映画特集第2弾のお知らせ》

12月17日よりモフセン・マフマルバフ監督「サイクリスト」マジッド・マジディ監督「父」アリ・タレビ監督「神様への贈り物」等を上映予定。詳細はシネラNEWS12月号をご覧ください。

福岡市総合図書館ミニシアター

ブリティッシュ・カウンシル(特別協力)
イギリス映画会特別上映

燈台へ

ヴァーニジア・ウルフの作品をBBCが映画化。スコットランド北西部のプリデーズ諸島のラムジー家の別荘を舞台に、哲学者で気難しいラムジーと、柔軟で包容力のある、まるで灯台の光のような女性、ラムジー夫人とその家族間の人間模様を描く。イギリスの名優たちを起用し、監督のコーリン・グレグとカメラマン、ケン・ウエストバリーの手によって、洞察に富んだ美しい詩的な作品となっている。
※日本語字幕なし。当日あらすじを配布します。



原監督 1983年
作... コリン・グレグ
ヴァーニジア・ウルフ
原監督 1983年
作... コリン・グレグ
ヴァーニジア・ウルフ

日時：11月29日(土) 14時～観覧無料

場所：福岡市総合図書館ミニシアター (ビデオライブラリー)

お問い合わせ：092-752-3750 ブリティッシュ・カウンシル福岡オフィス

▼ 映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内 容
11	1	土	自主上映事業 日本映画発見Vol2 「無頼平野」他1篇上映(予定)
	2	日	11:00 ボンベイ 15:00 ロージャー
	3	月・祝	11:00 大地のうた 14:00 講 演 多様なインド・多様なインド映画 15:10 バンディット・クイーン
	4	火	休 館 日
	5	水	14:00 おとぎ話 18:30 アマル・アクバル・アントニー
	6	木	14:00 紙の花 19:00 ボンベイ
	7	金	14:00 ロージャー 19:00 大地のうた
	8	土	11:00 おとぎ話 15:00 シャンカラーバラナム
	9	日	11:00 対面 15:00 アマル・アクバル・アントニー
	10	月	休 館 日
	11	火	上映はありません
	12	水	14:00 シャンカラーバラナム 19:00 私自身のもの
	13	木	14:00 ロージャー 19:00 バンディット・クイーン
	14	金	14:00 ボンベイ 19:00 対面
	15	土	11:00 私自身のもの 15:00 紙の花
	16	日	11:00 大地のうた 15:00 バンディット・クイーン
	17	月	休 館 日
	18	火	上映はありません
	19	水	14:00 サラ 19:00 戦火の中へ
	20	木	14:00 パンと詩 19:00 青いベール
	21	金	14:00 これを最後に 19:00 戦火の中へ
	22	土	11:00 選択 15:00 牛
	23	日・祝	11:00 ザ・ブーツ 15:00 青いベール
	24	月・祝	11:00 チック・タック 15:00 サラ
	25	火	休 館 日
	26	水	14:00 牛 19:00 パンと詩
	27	木	14:00 ザ・ブーツ 19:00 これを最後に
	28	金	14:00 チック・タック 19:00 選択
	29	土	自主上映事業 「百一夜」「カンフー・マスター」(予定)
	30	日	月 末 休 館 日
11	1	月	休 館 日

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御承ください。

各団体の自主上映事業

11月1日(土) 日本映画発見Vol2
「無頼平野」他1篇上映(予定)

問い合わせ先: 電ノコニ刀流 TEL: 092-504-3656

11月29日(土)「百一夜」「カンフー・マスター」(予定)
主催: 福岡映画サークル協議会 TEL: 092-781-2817
※自主上映事業の上映時間、内容等詳細につきましては
直接主催者にお問い合わせ下さい。

ギャラリー展示「インドものしりライブラリー」

会 期: 10月28日(火)～11月24日(月)
会 場: 福岡市総合図書館1階ギャラリー
観覧料: 無料

日本人にも馴染みの深い料理であるカレーが、ご本家
インドではどのように食べられているのかを考えなが
ら、「食」の基本となる伝承医学のアーユルヴェーダやイ
ンド文化の根底に流れるヒンドゥー教などを図書や様々
な資料を使ってご紹介します。

【お問い合わせ】 福岡市総合図書館調査相談課

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介やスケジュール、映像ホ
ール等で開催される各種イベントなどの情報を満載した「シ
ネラNEWS」を毎月お届けします。(但し、要郵送料負担)
申込希望月より'98年3月までの郵送料(90円切手×4
月分=360円)の切手を同封して、下記の宛先までお申し
込み下さい。

宛先: 〒814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示
していただける店舗等も募集いたしております。

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで。

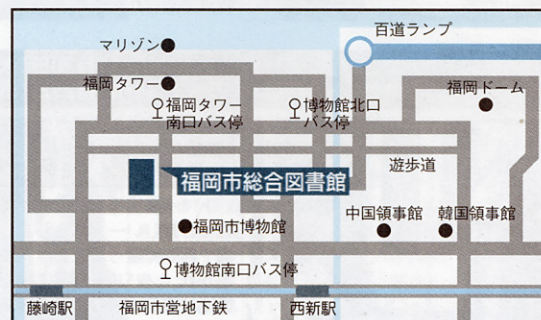
映像ホール利用申し込みについて

平成10年2月以降映像ホールで図書館の企画上映がな
い下記の期間は、映像ホールを有料で利用することがで
きます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の
映写会の利用に限る)

期間: 平成10年2月25日(水)～3月1日(日)
平成10年3月25日(水)～3月28日(土)

但し2月28日(土)は休館日。(3月25日(水)～3月28日
(土)の申し込みは11月5日の11時より受け付けます。)

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡
市総合図書館映像資料課TEL(092)852-0600までお問い合
わせください。



交通機関: 地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および
福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

お問い合わせは

Tel: 092-852-0600 Fax: 092-852-0609